

議決権行使レポート

証券コード: 7508

会社名 G-7ホールディングス

| | 賛成 | 反対 | 棄権 |
|-------------|----|----|----|
| 第1号議案 | | | |
| 金田 辰三 氏 | ○ | | |
| 岸本 安正 氏 | ○ | | |
| 松田 幸俊 氏 | ○ | | |
| 関 大作 氏 | ○ | | |
| 玉木 功 氏 | ○ | | |
| 野口 真一 氏 | | | ○ |
| 坂本 充 氏 | ○ | | |
| 志田 幸宏 氏 | ○ | | |
| 第2号議案 監査役選任 | | | |
| 加藤 康彦 氏 | ○ | | |
| 米田 耕士 氏 | ○ | | |

上記の推奨をした理由

第一号議案

- 金田氏：グループとして掲げている業績目標などから読み取れるように、G-7ホールディングスは彼の下で長きにわたって大きな成長を遂げている。2022年度で大きな株価の落ち込みなどが特にみられないため、グループとして金田氏の続行が望ましいだろう。
- 岸本氏：2005年頃より長期間G-7グループの財政に携わっていることから、G-7グループの高い配当性向などは彼の貢献が大きいことがわかる。これ以降も安定した財政状況を保つためには、岸本氏の再任が望ましい。
- 松田氏：岸本氏や金田氏と同様、長きにわたってG-7ホールディングスの法務に携わっている。これまでで特に目立つ不祥事や失敗がないため、再任に賛成である。
- 関氏：昨年と同様、業務スーパー部門の経営において関氏の手腕は必須だろう。昨年の営業成績を見る限り、彼は比較的若いながらも確かな実力を有していることが明らかである。グループが掲げる業績目標の達成のためには関氏は必要な人材であるため、再任に賛成する。
- 玉木氏：2004年よりG-7ミートテラバヤシの経営に深く携わっていることから、当社子会社の内部事情をよく理解していることがわかる。在任年数こそ他と比較し

て少ないものの、当社で長年経験を積んでいることにより信頼できる。今年は去年を上回る評判を得るために従事していただきたいと共に、玉木氏の再任に賛成する。

- 野口氏：今回唯一の新任である野口氏は、特に分析できる判断材料がないため深く言及がしがたい。しかしながら、当社子会社であるオートセブンにて経営に長期間携わっていたことから、豊富な知見を有しているとも見られる。総合的にみて判断が難しいため、他の投票者の総意に賛成する。
- 坂本氏：2013年より就任後9年間当社社外取締役として努めていただいていたが、様々な業種を展開する当社にとって重要な人材である。2013年以前の経営コンサルタントとしての経験を用いて、これからも有益な助言をしていただけるという期待から再任に賛成する。
- 志田氏：当社がこれからさらに成長を遂げるには、海外への進出も考える必要があるだろう。そんな中、志田氏の海外企業での経験や、金融関係の業種での経験から来る知見は非常に貴重なものである。これからも彼の豊富な実務経験から来るアドバイスを期待させていただくとともに、彼の再任に賛成する。

第二号議案

- 加藤氏：当社において内部室に携わる役職を歴任していることから、現職の続任年数が少ないとはいえ当社のリスク管理において重要な人材であるといえる。これ以降も当社のコンプライアンス及びリスク管理の監査機能の発揮を期待し、再任に賛成する。
- 米田氏：米田氏は社外役員以外の方法で当社の経営に携わったことはないが、長期に及ぶ弁護士の毛引見がある。加藤氏とともに補欠の監査役として当社の経営全般の監査を引き続き行っていただきたいので、再任に賛成する。